

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定に係る事業)

平成30年12月26日

協議会名: 釧路市地域公共交通活性化協議会

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③地域公共交通網形成計画等の計画策定に向けた方針
<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バス路線網再編にかかる運行計画案の検討 ・バス路線網再編計画案の利用意向に対する需要予測 ・バス路線網再編案に対する事業収支予測 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バス路線の一部ゾーンバス化に向けた便数、ダイヤ、運賃等の運行計画案や、ゾーンバス化に伴う乗継運賃(割引)を検討し、また阿寒、音別地域等の交通不便地域における生活交通の運行形態、便数、ダイヤ、運賃等の運行計画案を検討しており、最終的に精査している。 ・ゾーンバス化に伴う乗換拠点として設定した大型商業施設のバスの動線、乗場配置計画等を検討した。 ・再編計画案に対する利用意向を把握するため、再編対象路線の既存利用者にアンケートを実施し、また利用促進策等に対する利用意向を把握するため、無作為抽出した市民にアンケート調査を実施し、さらに本アンケート結果にバス停圏域人口、将来人口予測等を加味した上、需要予測を行っており、最終的に精査している。 ・再編計画案の運行にかかる費用と、需要予測を基に算出した運賃収入により、再編後の事業収支を予測しており、最終的に精査している。 ・上記により再編実施計画素案(たたき台)を作成、今後の協議会の検討を経て素案としてとりまとめる。 	<p>A</p> <p>計画通り事業は適切に実施された。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市内都市拠点を結ぶ公共交通軸の強化と乗換拠点の充実を図り、ニーズに応じた域内交通を確保し、将来に渡って持続可能な公共交通網を形成するため、乗換拠点の構築に必要な施設整備の進捗度合を踏まえ、ゾーンバス化を中心としたバス路線網の再編案を策定する。 ・交通不便地域における生活交通を確保維持するためのコミュニティバス等の再編案を策定する。 ・今年度中に再編事業について検討を行い、協議会や関係者との協議を経て、平成31年度に再編実施計画を策定する。 ・なお、平成32年度確保維持事業(地域内フィーダー系統)の活用を見込んでいる。